



# ☆☆ニュースレター☆☆

第167号  
発行日:2020. 08. 05  
(since 2006.2.1)

このニュースレターはメールを登録している正会員および賛助会員のほか当団体が了承した希望者に、随時配信しております。  
配信中止を希望のかたは右記までご連絡ください。

NPO 法人・クライネスサービス  
会 長 : 稲垣 正彦

編集・発行責任者: 事務局長・小林 弘司  
千葉県佐倉市宮ノ台3-2-2  
npo-kleines-463@catv296.ne.jp  
TEL/FAX: 043-463-1337  
<http://www.catv296.ne.jp/~kleines/>

## 《特別会員のご紹介》

ご承知のとおり、わがクライネスサービスは会員からの年会費が活動の支えとなっています。個人の正会員や賛助会員はもちろん、とりわけ大きな糧となっているのが「特別会員」からいただいている年会費です。

活動には自己の都合でやむを得ず不参加の会員も年会費による支援を継続されている方も相当数おられます。

今回は感謝を込めて「特別会員」を以下のとおりリストアップして紹介します。(順不同)



見事に咲き誇った南ユーカリが丘  
緑道のサルスベリー

### (企業・商店会関係)

山万(株)	ユーカリが丘商店連合会
ワイエム総合サービス(株)	(株)コミュニティデザイン
光陽(株)	ダイハツ千葉販売(株)ユーカリが丘店
ウイシュトンホテル(株)	(株)千葉マツダ ユーカリが丘店
(株)広域高速ネット二九六	千葉スバル(株)ユーカリが丘店
みずほ銀行ユーカリが丘支店	大和自動車(株)ユーカリが丘店
千葉銀行ユーカリが丘支店	

### (自治会関係)

ユーカリが丘1丁目自治会	宮ノ台1丁目自治会
ユーカリが丘2丁目自治会	宮ノ台2丁目自治会
ユーカリが丘3丁目自治会	宮ノ台3, 4, 5丁目自治会
ユーカリが丘4丁目自治会	ビオウイングユーカリが丘自治会
ユーカリが丘5丁目自治会	南ユーカリが丘自治会
ユーカリが丘6丁目自治会	スカイプラザステーションタワー自治会
ユーカリが丘7丁目自治会	プレシオ南ユーカリが丘自治会
上座区会	井野東二区自治会
ユーカリ殖産自治会	西ユーカリが丘1丁目自治会
自治会法人小竹区	西ユーカリが丘5丁目自治会
スカイプラザミライアタワー自治会	西ユーカリが丘6・7丁目自治会

## 事務局から\*

### 1. 平成31年・令和元年度活動参加数ベスト15発表

昨年4月から今年3月までの各種ボランティア活動には福祉や植栽など環境美化活動を含め延べ1548名の会員が参加しましたが、参加回数の多い順に15名のお名前(敬称略)をご紹介します。各自大変お疲れさまでした。( )内数字=令和元年度合計参加回数

1. 苗木 (134)      2. 稲垣 (128)      3. 矢島 (99)      4. 加藤 (92)      5. 島岡 (71)
6. 安濟 (66)      7. 岡野 (61)      8. 渡辺充規 (52)      9. 眞柳 (47)      10. 薄 (46)
11. 宍戸 (44)      12. 桑原 (43)      13. 橋川 (40)      14. 河西 (37)      15. 中村雅宜 (36)

上記参加回数「996回」となり、わずか15名だけで全体実績延べ人数の48%にも相当しますが、このほか、現役で勤務している企業社員や小中学校PTAの役員らの参加人数も90名ほどになりました。それぞれご自分の予定を犠牲にしての参加に感謝申し上げます。



### 会員投寄稿 -47- 「やっぱりカラオケ」 (岩浅博彰)

クライネスの皆さんと楽しく唄っていたカラオケ会も開催出来ず、他の友人達とも集まれず、おおいに欲求不満を募らせています。うーん、コロナウイルスめっ。そんなことを思いつつ、パソコンに書き溜めていた昔から知っている歌や、新しく覚えた歌が770曲を超えました。その中には唄いたくてもカラオケ機に入っていない曲が沢山あ

るのですが、ロズさむとその曲がヒットしていた若かりし頃を思い出します。橋幸夫の「シンガポールの夜は更けて」は股旅演歌から一転、バラード風の奇麗な曲でした。三橋美智也の「雨の九段坂」は感情を込めて唄っていると、途中でじんと来て声が上ずりそうになる程でした。江夏圭介と酒井和歌子の「大都会の恋人達」などは、こんな素敵な恋をしているカップルもいるのだろうかあと、羨ましく思いながら聞いていました。

カラオケ好きのみなさん、コロナから解放されたらまた「カラオケ会」で集まりましょう！

### 編集担当のつぶやき

### 「コロナとカタカナ語」

165号でも言及しましたが、今回の「新型コロナウイルス」騒ぎでは日本中、いや世界中でかつて経験したことがないほど異様な生活を強いられています。行ったことがない地へ旅に出る、家族と食事に出たり、または友人たちと飲み会をしたり、孫たちと自由に行き来したり、つまりごく普通の生活が出来なくなったわけです。

それにしても「コロナ」がニュースになってからというもの、やたら耳慣れないことばがメディアで頻出しています。「COVID19 (Corona Virus 2019)」から始まり、PCR、クラスター、テレ(リモート)ワーク、パンデミック、エクモ、エピセンター、東京アラートから、ガールズバー、ホストクラブ、ソーシャル・ディスタンス更には「ウィズコロナ」というカタカナまで、ほぼ英語のオンパレード。日本語で言えないこともないとの批判もあるが、知らないうちに巷間では口の端に上がりその言葉で話を通じているから不思議です。そもそも、英米では“coronavirus”を「ヴァイラス」と発音しているのに日本語では「ウイルス」となったのはなぜだろうか？オーストリアの首都「Vienna」が「ウィーン」と発音する所以か。